



健口で楽しい食育

# 塩川食育通信



1月の給食の目標 感謝して食べましょう

献立のねらい

大すき 喜多方の日

## ■ 団子さしと二十日正月 ■

1月19日(金)

りっちゃん  
サラダ

果物

だんご汁



年の始めは、縁起物を飾ったり、食べたり、初市があったり、日本や地域の文化に触れる機会が多くあります。

子どもたちは、体験を通して様々な文化を学んでいます。小正月や団子さしも、子どもたちに継承していきたい文化の1つです。



1月15日を中心とした正月を小正月といいます。昔は餅をつき、重ね餅（鳥追い餅）も作ったそうです。その後、「だんごさし」という五穀豊穡、一家繁栄、豊作祈願などの行事にかわりました。日本らしい農耕行事の1つ、良い風習ですね。

また、団子さしに使われた団子は「〇〇の風にさらすな」といって19日にとって、20日の朝、団子汁などにして食べる風習があります。そして、1年間の健康、幸せを祈願します。昔の人は、神様にお供えた物をいただき、縁起を担いだのでしょうか。食べ物を大切にする昔の心が感じられます。今日は、給食の献立の二十日正月料理にあわせて、団子汁を献立に盛り込みました。また、人気の揚げパンも登場です。おいしい楽しい、安全な給食で、

幸多き一年になりますように。

クイズ

「〇〇の風にさらすな」といわれる、〇〇とは次のうちどれでしょうか？ ①二十日 ②インフルエンザ ③大寒